

鴨川ふるさと会だより

— 第3号 —

鴨川ふるさと会事務局発行：〒296-8601

千葉県鴨川市横渚1450番地(鴨川市役所企画財政課内)

TEL:04-7093-7828

鴨川における食関連の取り組みの代表としては「おらが井」

まず、何よりも鴨川というまちの良さを多くの人に知ってもらうためには、観光地としての魅力により「層磨き」をかけることが肝要だと考えています。そして、中でも特に、昨今のグルメブームの影響もあり世の中の関心が非常に高く、また、地元産の豊富な食材を活かすことのできる「食」に関する取り組みが重要であると考えています。

入会当時は全くの素人であった私もいつか、週末のたびに生活拠点のある市外から大山地区の温室へと足繁く通うようになり、十数年が経過しました。今回は、そのようにして定期的に鴨川に通いつつ感じていることをまちづくりの視点から述べてみたいと思います。

市内に住む古い友人の誘いで、十数年前から鴨川の洋蘭愛好会に入会しています。

が挙げられますが、この度、過去にふるさと会でも講演会の講師をお願いしたことのある料理評論家の山本益博氏が「おらが井大使」として就任されたこと、また、石川県で開催された「全国井サミット」への参加が大成功に終わったことなどを聞き及び、こうした取り組みを通して、「おらが井」の更なる熟成がなされると嬉しいと考えています。

また、農産関連では、大山千枚田、みんなの里が中心となり相当に頑張ってくれています。千枚田は各イベントがテレビ等で取り上げられる程に注目を浴びており喜ばしく思います。みんなの里についても、各行事は地元ならではのアイデアに感心させられるのですが、売店、レストランについては、他市における同様の施設と比較してまだ伸びしろがあるように思えます。売店への出品者の意識の向上、そしてレストラン

のメニュー構成、料金等も改善すれば更に集客力が増すのではないかと考えています。水産関連では、観光客がとれたての旨い魚を見て買えて食べられる、そのような施設が漁港付近にあれば、集客の目玉になるだろうと思います。言うまでもなく、鴨川は医療が非常に充実したまちです。また、教育に関しても、県内初の公立小中一貫校の開設など、質の向上に向けた取り組みが積極的に展開されており、今後に期待が持てます。

風光明媚な自然環境、由緒ある歴史・文化に加え、医療・教育の充実という「定住地としての魅力」を、観光で訪れた方に広くアピールしていくことにより、U・I・J・ターンによる定住を促進し、地域の更なる活性化を図ることが可能となるのではないかと考えています。

皆さんは、鴨川の名が冠せられた洋蘭があることをご存知

いまだ見ぬ花と、 我がふるさとと..

鴨川ふるさと会副会長 清水 龍太郎



でしょうか。

私とそのカトレアを目にしたのは、前述の洋蘭愛好会に入会して間もない頃でしたが、それ以降、洋蘭栽培とまちづくりをそれとなく重ねて考えてきたように思います。

始めは小さな苗であったものが、精一杯手をかけ愛情を注ぐことで美しい花を咲かせ、無上の喜びを与えてくれる存在となります。これはまちづくりにも言えることなのではないか、と思います。市内外の在在を問わず、鴨川に関わる全ての人の愛情でまちのあらゆる場所が満たされたとき、これまで私が見たこともない素晴らしい花が咲くのではないかと、そうなるだけのポテンシャルがこのまちにはあるのではないかと、そして、そのためのお手伝いが、ふるさと会での活動を通して私にもできるのではないかと、そのように考えています。

新役員の 公募を行います！

ふるさと会会則では役員
の任期を2年と定めていま

は、登録票へのご記入とともに、今後におけるふるさと鳴川市の活性化のため、積極的なご協力をお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、登録票へのご記入とともに、今後におけるふるさと鳴川市の活性化のため、積極的なご協力をお願いいたします。

これまで、理事会等において具体的な実施の方法などに関して調整を重ねてきましたが、この度、登録の様式をはじめとする制度の枠組みが整いましたので、本会報に同封にて「鳴川ふるさと会人材バンク登録票」をお手元にお送りしています。

人材バンクの設置

ふるさと会では会員の皆様
が持つ多様な知識や技術、技能などを把握・整理し、会や市政、市内の民間団体などが実施する様々な活動に利活用させていただくことで、市勢の更なる進展に寄与することを目的として、本年度事業のひとつとして、会員から構成される「人材バンク」を整備することとしています。

長狭高校で 石川会長が講演

平成二十一年十二月十五日にふるさと会の石川会長が県立長狭高校において講演を行いました。これは、千葉県が実施し、長狭高校が参加する「魅力ある高等学校づくりチャレンジ支援事業」の一環として全校生徒と職員合わせて六百二十名を前に行われたものです。

その内容は「ふるさと鳴川

つきましては、今後におけるふるさと会の運営、ひいてはふるさと鳴川市のため、これから会の役員としてご活躍いただける方を会員の皆様より広く募集いたしますので、ご意向をお持ちの方は本会報に同封の応募用紙によりご応募くださいますようお願いいたします。

すが、これに伴いまして、来年度(平成二十二年度)の定期総会における議題として、「役員の変更」が予定されています。

過日開催されました理事会で新役員の選出方法について協議した結果、設立十周年を機に理事会機能の更なる充実を図るため、全会員を対象として公募を行うこととしました。

鳴川市から石田三示 衆議院議員が誕生

これまで主に大山千枚田を中心としたNPO活動等を通して、都市と農村の交流による地域の活性化を推進してき



会長の講演の様子

の素晴らしさ」というテーマで、「私の期待する母校長狭高」から「いきいきとしたふるさとタウンづくり」まで、会員の皆さんを代表してふるさとに対するその想いを広く語りかける内容であり、将来の活躍が期待される若い世代とその教育を担う先生方も神妙な面持ちで聞き入っていました。

かがわの現在

検索

市政の今を

お伝えするコーナーです。

市の市民憲章・シンボル・ イメージキャラクターが 決定

市では、合併後の新市誕生から5周年を迎える本年度「鳴川市民憲章」、「市の花・木・魚」、「イメージキャラクター」の策定事業に取り組んできました。

特に「市の花・木・魚」の選定にあたっては公募を実施し、ふるさと会の会員の皆様からも多数のご応募をいただきましたが、この度、市民憲章が1月1日付けで制定されるとともに、市の花として「葉の花」、木に「松」、魚に「鯛」がそれぞれシンボルとして指定されました。さらに、このシンボル指定にあわせて、「おはようスパーク」の作者として有名な市内在住の漫画家たかなししずえ先生のデザインによる各シンボルのイメージキャラクター、「ななちゃん」、「まつつー」、「たいよう君」も制作されました。今後、このキャラクター達はふるさと意識の向上や市のイメージアップ、地域の振興などに役立てられていく予定です。

た本市出身の石田三示氏が、先に行われた衆議院議員選挙において比例区(南関東ブロック)で見事当選されました。政権交代に伴い、「コンクリートから人へ」政策転換が図られる中、これまで地域に密着した活動で確かな成果を挙げてきた石田議員の今後の活躍が多いに期待されます。

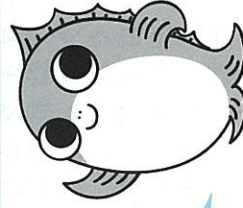
去る三月十五日には、本会の石川会長が東京都の議員会館に石田議員を訪ね、今後のふるさと会への支援と指導を要請するとともに、ふるさと鳴川を拠点とした豊かな地域社会づくりのため互いに協力していくことについて、話合いが持たれました。



優しさの「ななちゃん」
 “ななちゃん”はフワフワの女の子。近くにいるだけでみんな優しい気持ちになります。“ななちゃん”が通ったあたには花びらがフワフワ舞います。



力強さの「まっつー」
 “まっつー”はドンと構えて、あまりフットワークはよくありませんが、いざという時は頼りになります。



明るく元気な「たいよう君」

“たいよう君”はお日様のよう
 うに明るく元気いっぱいでお祭りやイベントなどの楽しいことが大好きです。



鳴川市民憲章

太平洋と加茂川と嶺岡や清澄の山なみ。先人のこの自然にはぐくまれた純ほくな気風、先人の尊い遺産。

わたくしたちは、これを誇りとして、さらに活力ある豊かなまなま鳴川の発展をめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然を大切に、まをきれいにしましょう。
2. ふれあいといたわりの心をだいにしましょう。
3. 家庭を愛し、ひとのためにつくみましょう。
4. スポーツを楽しみ、健康な心と体をつくりましょう。
5. 教養をたかめ、視野を広げましょう。

(平成22年1月1日制定)

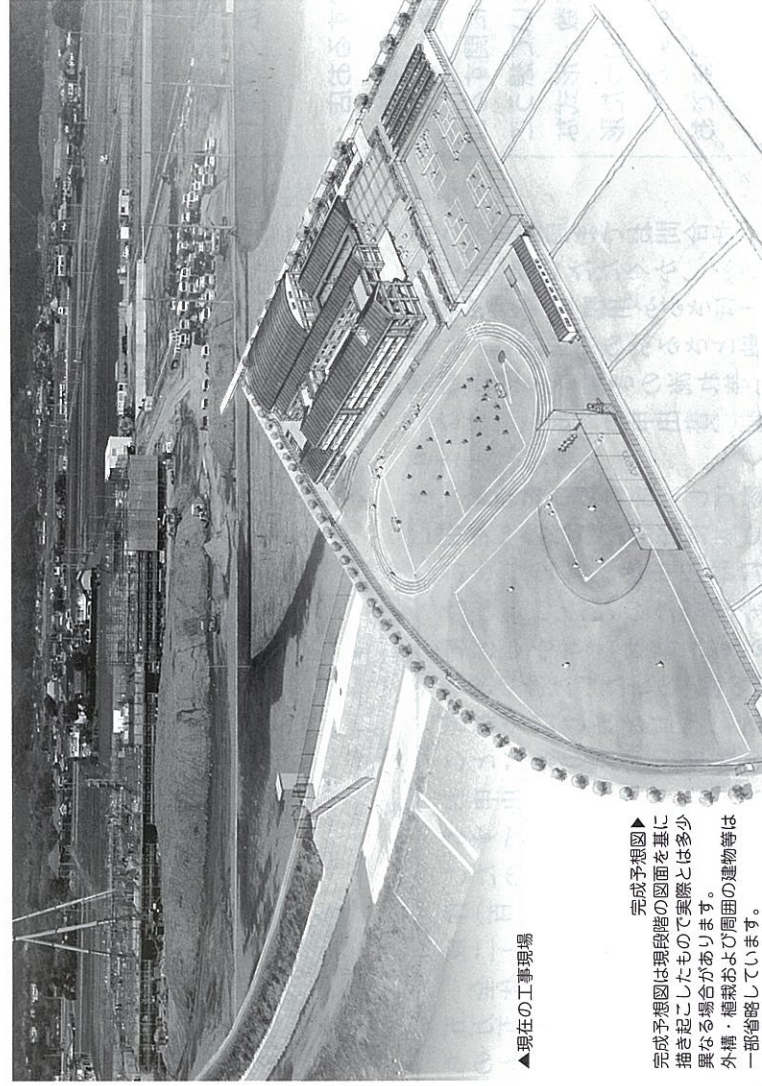
新「鳴川中学校」の建設を進めています。

市では、江見・鳴川の両中学校を統合する新「鳴川中学校」を平成二十三年度から開校することとしており、市役所北側(東条地区)において、新校舎の建設を進めています。

これは、市民有識者などにより構成された学校適正規模検討委員会において、現鳴川中学校の耐震診断の結果や、減少傾向にある生徒数などを判断材料として検討された結果に即して実施しているもので、その名称は市民等五百八十三人からの公募により選定されました。

現在、新校舎の建設は、校舎、屋内運動場、武道場のいずれの施設も基礎杭の設置を終え、校舎の躯体工事に掛かっているところです。このほか、野球場の張芝やバックネット工事、外周の擁壁工事などについても、平行して整備が進められています。さらに、駐輪場や屋外倉庫棟(部室)、陸上トラック、サッカー場、テニスコートなども順次着工の予定となっています。

統合後の中学校における生徒数は約六百人程度を見込んで



▲現在の工事現場

完成予想図は現段階の図面を基に描き起こしたもので実際とは多少異なる場合があります。外構・植栽および周囲の建物等は一部省略しています。

であり、子ども達がたくさん
 の仲間と手をとりあい、とき
 に競い合いながら自立した大
 人へと成長していくための教
 育環境づくりを進めていく予
 定です。

また、既設の学校や、統廃

合に伴い廃校となる小中学校
 の跡地等の利用についても順
 次、耐震改修等の所要の整備
 を進めており、会員の皆様へ
 は、今後もこの会報などを通
 して経過をお知らせしていく
 予定です。



市では、第一次基本構想の下に策定した第一次五年計画の計画期間が平成二十二年で終了することに伴い、平成二十三年度を始期とする第二次五年計画の策定を進めています。本計画の策定にあたっては、市民の意見を集約して計画に反映させていくという方針の下、既に市民意識調査を実施しており、今後は広く市民を対象とした懇談会等の開催を予定しています。

この度、これに加えて、本市にゆかりのある市外在住の方からもご意見を頂戴するため、ふるさと会の会員の皆様を対象として、アンケート調査を実施させていただくこととしました。

つきましては、日頃より鴨川市を客観的かつ熱いまなざしで見つめてくださる皆様の

市総合計画の策定に係るアンケート調査へのご協力をお願いします！

想いを将来のまちづくりへと有効に活用させていただきたく、本会報と同封にて調査票を送付させて頂きましたので、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

観光客への情報提供 事業の実績報告

ふるさと会では平成二十一年七月から、鴨川市長が委嘱する鴨川ふるさと大使の名刺を持って市内の観光案内所を訪れた方へ、観光ガイドブックや市内で使える割引券等のセットの提供を行っています。

これは、ふるさと大使の皆様が行う観光PR活動に微力ながら力添えし、訪れてくださる観光客の方々に、ふるさとの魅力を効果的にアピールするための施策のひとつとして実施しているものです。平成二十二年二月二十八日現在で三十四部の提供を行い、受け取られた方からも大変好評であり、今後も継続していく予定です。

また、より多くの方々に鴨川の素晴らしさを知ってもらうため、会員の方からのふるさと大使就任のお申出につきましても、随時、ふるさと会事務局にてお待ちしております。

新規会員の 入会促進について

平成十年の設立当初に二百二十九名であった会員数は、会のホームページをご覧になられた方からのお申し出や、会員の皆様からのご紹介などにより平成二十二年二月二十八日現在で三百八十三名となっています。

会としては、鴨川市に縁のある多くの会員で組織を盛り上げ、会員間のきずなづくりを促進するとともに、市のまちづくりへの働きかけもこれまでより一層活発に実施していきたいと考えており、そのためにも当面は五百名を目標として会員を積極的に募ることとしています。

会員の皆様におかれましては、係る趣旨にご理解を賜り、同窓会など、主に同郷人が多く集まる場においては、積極的に「鴨川ふるさと会」をPRいただけますようお願いいたします。

ふるさと納税の 実績報告

市では「ふるさと納税」制度の下でのご寄附を募っていますが、この会報でのご紹介などを通して、ふるさと会の会員の皆様からも多数のお申

掲載記事の募集

「鴨川ふるさと会だより」では会員相互及び会員と鴨川市との間でより活発な情報交流を図るため、会員の皆様発の記事を広く募集しています。

会員の皆さんが経営するお店・会社の紹介や、出身校の同窓会レポート、鴨川産の食材をつかった料理の調理法、健康等に関するコラムから鴨川市政について想うことまで、掲載欄・文字数・形式など、可能な限りご希望に沿った形で相談させていただきますので、お気軽にふるさと会事務局までお問合せください。



出をいただいております。

この紙面をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、本年度におけるこれまでの実績をお知らせします。

平成二十一年度は二月二十八日現在において、全体として八十二件(二百三十七万五千円)のお申出をいただいております、そのうち会員の皆様か

らのものは二十一件(八十五万五千円)にのぼります。

全体として見ても、平成二十年度の実績が四十件(百九十七万五千円)でしたので、件数・金額ともすでに前年度を上回るお申出をいただいていることとなります。会員の皆様をはじめとして、ご寄附いただいた方の「思い」にしっかりとお答えするため、いただいた寄附金については、お申出時に

ご指定いただいた用途に基づき、有効に市政に活かして参ります。

なお、ご寄付の申出書、制度の概要・手続きの流れ等、詳しくは鴨川市のふるさと納税専用サイト「鴨川ふるさと」をご覧ください。ふるさと会事務局までお問合せください。